



平和の使徒推進本部 社会司牧デスクからの

お知らせ 2020年12月

11月24日に教皇来広一周年の記念行事が行われました。ミサと世界平和のための祈りの集いには、多くの報道陣も取材に訪れ、カトリック教会の人々が市民と共に祈る姿が報道されました。コロナ禍の中で、「社会へのチャレンジ」は難しいと考えがちですが、平和を望み、いのちを大切に作る姿勢を社会に対して示していくことも一つではないかと思いました。(当日の写真は、平和の使徒推進本部のホームページに掲載されています。)

★アドベント・エコ・カレンダーをご存知ですか？

FABC(アジア司教協議会連盟)人間開発局が作成した「2020 アドベント・エコ・カレンダー」は待降節の間、教皇フランシスコの回勅「ラウダート・シ」の意向に関連する振り返りや行いに取り組むためのヒントが毎日一つずつ示されています。日本語版がカトリック東京大司教区のホームページに掲載されています。祈りと行動の指針としてご利用なさってはいかがでしょうか。

★真備はいま？

倉敷教会の岡野さんより続報をいただきましたので、お知らせいたします。

教会では現在も、支援物資の箱を置いており、一部の方から、支援物資をいただき、ご近所の必要な方にお渡ししています。細々とですが、続いています。

現在、真備町内で支援物資を常時置いているところは、まきび公園の駐車場にあるたけのこ茶屋の一部屋に衣類などがあるだけだと思います。

被災前から継続した生活困窮状態の方は、何人かいらっしゃるようで、把握できた方には、主に、真備支え合いセンターで、食料品や日用品などの支援をしています。

★DVD 貸し出しします

社会へのチャレンジ「いのち」のテーマについて考えるヒントとしてご利用ください。

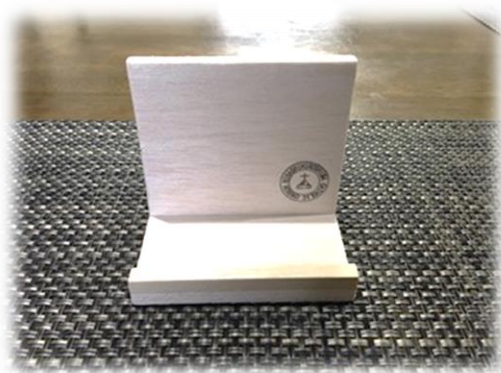
- ・マザーハウス代表 五十嵐弘志氏の講演(受刑者の社会復帰支援)
- ・「ハラスメントを防止するために わたしたち一人ひとりの課題として」竹之内雅代氏(ウィメンズカウンセリング京都)

★東広島教会「びこりせみ」

推進本部では「ローマ法王になる日まで」のDVDも貸し出ししていますが、先日東広島教会からその御礼にマスキングテープが届きました。👉

東広島教会では、教会活動や施設の維持のための献金を募ることと、地域に開かれた教会を目指すことを目的に、社会活動部の中に「びこりせみ」(ちいさな辛子種)というグループを組織して、①コンサートや映画上映会の開催、②オリジナルのお菓子類や小物の製作をして、秋祭りやコンサート会場でミニバザーを開催して来場者の方々からオリジナル品の代償として寄付を頂く活動を今年度から始められたそうです。

女性中心の組織で、各々自分の得意分野で工夫をこらし宣教も兼ねながら、マスキングテープのデザインと製品化、ペインティングのろうソクや紙ばさみ、スマホスタンド(教会ロゴマーク入り)、ロザリオ入れや折り紙袋、ケーキ、クッキー、ベーグル等を製作し、教会献金を集めておられます。



スマホスタンド！

お待たせしているボランティアグループ紹介の冊子ももう少しで完成を目指しています。コロナ禍でも、工夫しながら活動をされている小教区やグループがありましたら、お知らせください。



発行

平和の使徒推進本部 社会司牧デスク

電話:082-221-6613 (月火木金 9時~17時) FAX:082-221-6019

Email: pcaph@hiroshima.catholic.jp

ホームページ <https://www.social-desk.net/>